

東京都世田谷区

## 地域の多様な人材の力を結集し、 ダスト濃度計のトップメーカーへ

1946年に創業し、電気試験装置の開発から事業をはじめ。現在は、環境関連事業としてOEM製品製造に加え、自社製品の環境測定機器の開発、製造を手がけている。主力商品は、ダスト濃度計、環境粉じん連続モニター、PM2.5の連続測定器等の開発、製造、販売、保守サービス。その他、太陽電池パネルを利用した避難誘導塔(AE-TOWER)やOEM製品事業として原子力発電所等で使用される放射線測定器の製造を行っている。

●所在地	東京都世田谷区経堂3-30-10	●設立	1963年
●電話/FAX	03-3425-2381/03-3425-2373	●資本金	2,500万円
●URL	<a href="http://www.tanaka-e-lab.com">http://www.tanaka-e-lab.com</a>	●従業員数	36人
●代表者	代表取締役社長 田中 敏文		



担い手確保

### 地域のベテラン社員、女性社員を積極的に活用

煙突から出る煤塵（ばいじん）を連続的に測定できるダスト濃度計ではトップメーカーであり、電力会社や製鉄所、ごみ清掃工場への導入実績がある。その技術をささえるのが主力である烏山工場である。全社の8割をしめる工場従業員全員が地元採用で、その約35%が女性である。また、高度な技術を持つ定年後の社員に対しては役職を継続している。ベテラン社員がOJTを中心に進めており、技能継承の担い手となっている。



烏山工場と地域社員

ものづくり

### 限られた人材資源を製造技術へ集中、高度な人材を育てる

優れた製造・技術要員を確保し、新規開発製品に専念させることが環境技術分野では重要である。そのため、販売部門は外部委託し、自社社員は製造技術へ集中させ、自立化・高度化に注力させている。育成施策として、入社3年経過の社員に電子機器組立の技能検定取得を推進しているほか、高度な検定取得者を指導員とした社内講習会を実施し、工場従業員の7割に技能を取得させることに成功している。また、社員の自部署以外の分野の業務も経験させることで、多能工に向けた人材育成も行っている。



高度な人材育成

### JIS活用で業界標準化を推進、他社の追随を許さない事業展開

自社製品である「白濁排ガス用光散乱式ダスト濃度計」は、小型軽量化を実現している競争力のある製品である。煙道内に設置した瞬間気化装置によって直接白濁したミストを気化させた後にダストを測定ができるため、排ガス吸引装置を不要にすることが可能となった。この技術の元になる非吸引光散乱式ダスト濃度計について、新市場創造型標準化制度を活用し、ダスト濃度計の性能評価方法に関する国家規格(JIS)を制定することに成功。技術の標準化を推進し、業界をリードすることで他社との差別化を図っている。



自社製品の非吸引光散乱式ダスト濃度計